

株式会社ナブアシスト 様

「K5」を活用したパッケージソフトのクラウド化により、
お客様の選択肢を増やし、営業スタイル・導入支援の変革を目指す

群馬県に拠点を置くシステム開発会社 ナブアシスト様は、実績のあるパッケージソフト「Navisia労務管理」のクラウド化を決断。移行先のクラウド基盤として、富士通の「FUJITSU Cloud Service K5」を選択しました。その結果、お客様の選択肢を増やすことに成功し、営業スタイル・導入支援の変革も目指しています。さらに、他社との連携による新しいビジネス創出の環境も手に入れました。



課題

- パッケージソフトの成熟によるクラウド化を検討
- デモ機やデモ環境の準備を必要とするオンプレミスシステムの営業・導入支援におけるさまざまな課題
- パッケージソフトでは困難な他社システムとの連携

効果

- MetaArcパートナープログラム*の活用により、既存パッケージソフトのクラウド化を容易に実現
- 試用も含めてすぐにお客様に提供できることにより、営業スタイルや導入支援の変革を推進
- K5上で実現できる他社システムとの連携による新しい提案、新しいビジネスの創出

*MetaArcを活用したパートナーのビジネスを、技術と販売の両面から支援するプログラム

製品・サービス

FUJITSU Cloud Service K5

採用のポイント

- ・富士通が推進するデジタルビジネスプラットフォーム「MetaArc」の可能性
- ・パッケージソフトのクラウド移行に必要なサポートや支援プログラムの充実
- ・パートナー間の連携・協力による新しいビジネスの創出

富士通が推進する「MetaArc」の可能性にいち早く注目

ナブアシスト様は、1975年創業の群馬県に拠点を置くシステム開発会社です。同社の特徴は、特定の業界にターゲットを絞り、必要な機能を徹底的に追求したソリューション「Navisia（ナヴィシア）」シリーズを展開していることです。同社では、こうした業界特化型のソリューションを「一芸ソリューション」と呼び、

すでに数多くの企業に導入されています。

たとえば、飲食店向けのPOS・オーダーエントリーシステム「Navisia外食店舗」は、大手外食企業に採用され、全国の約1,000店舗で導入・活用されています。また、運送業向けの車両運行を支援する「Navisia運行支援」、小売業向けの「Navisia労務管理」など、数多くの「一芸ソリューション」を群馬から全国に提供しています。

一方、富士通が推進するMetaArcは、クラウド、モバイル、ビッグデータ、IoTなどの先端技術と富士通の知見・ノウハウを融合したデジタルビジネスのプラットフォームです。その中核サービスであるクラウドサービス「K5」上には、現在、富士通自身の国内外の全640システムが移行中であり、パートナー各社のシステムも、K5への移行がすすめられています。さまざまなシステムがクラウド化されることで、システム間の連携も容易になり、新たなビジネスの創出が期待されています。

一方、富士通が推進するMetaArcは、クラウド



(右より)
株式会社ナブアシスト
流通ソリューション営業部 次長
葛谷 正美 氏

株式会社ナブアシスト
流通ソリューション営業部 流通一課 統括主任
七五三木 仁志 氏

株式会社ナブアシスト様 概要

本社所在地 | 群馬県前橋市元総社町521-8
代 表 者 | 代表取締役社長 望月 明夫
設 立 | 昭和50年12月22日
従 業 員 数 | 165人
U R L | <https://www.nav-assist.co.jp/>

カスタマイズ率の低下した労務管理パッケージのクラウド化とMetaArcがシンクロ

MetaArcの可能性に注目されたナブアシスト様は、自社パッケージソフトのクラウド化を決断。その第一弾として選ばれたのが、「Navisia労務管理」です。これは、単なる勤怠管理ではなく、店舗における適正な人員配置を実現したり、勤務予定や人件費を管理して経費削減に貢献したりできるパッケージソフトとして、全国のスーパーやドラッグストアに数多く導入されています。

ただし、MetaArcに合わせて「Navisia労務管理」のクラウド化が検討されたわけではありません。流通ソリューション営業部 次長 葛谷正美氏は次のように説明します。

「Navisia労務管理の展開をはじめた5、6年前は、お客様はそれぞれ独自に工夫して労務管理をされていました。このため、システムのカスタマイズ率が高く、クラウド化はまだ時期尚早でした。しかし、多くのお客様に導入いただく過程でシステムも成熟し、徐々にカスタマイズの割合が減り、クラウド化も視野に入ってきたところで、MetaArcが重なったのです」(葛谷氏)

さらに、ビジネス的な観点および営業的な観点からも、クラウド化が求められていたと、営業を担当する流通ソリューション営業部 流通一課 統括主任 七五三木 仁志氏は次のように説明します。

「システム更改のタイミングでクラウドを検討されるお客様が増えてきたことも、大きい理由です。また、システムをデモする際、従来はデモ用パソコンを使って『十分なパフォーマンスは出ないのですが…』とお断りしながら実演せざるをえませんでした。しかし、クラウド版があれば、わざわざデモ機を使う必要はありませんし、一定期間、無償で試用していただけるなど、営業のスタイルも変革できると考えたのです」(七五三木氏)

こうして、2016年3月から「Navisia労務管理」のK5移行プロジェクトがスタート。2016年4月から5月にかけて移行作業が行われて、無事、移行を完了しました。現在は、クラウド版の「Navisia労務管理」がK5上で稼働し、お客様から要望があれば、いつでも提供できる状態になっています。

K5上での他社システムとの連携によって、さらなるビジネス拡大を目指す

現在、システム更改時期を迎えている十数社のお客様と、クラウド版も含めた商談が進行中です。また、クラウド版については無償で利用できるトライアル版も準備中です。

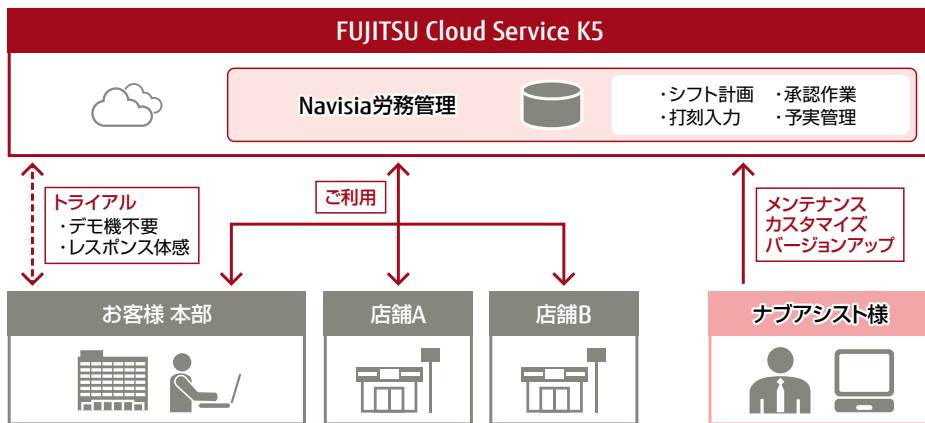
「トライアル期間がきたら使えなくなるというのではなく、トライアル中に我々からお声がけし、効果検証まで実施させていただきたいと思っています」(葛谷氏)

さらに同社は、「Navisia労務管理」に続き、既存のいくつかのパッケージのクラウド化もすすめており、すでに「Navisia外食店舗」はクラウド化の検証を完了しました。ラインアップは今後も増える予定です。

また、他社システムとの連携も始まっています。現在、日本システム様のBIシステムである「Linxgate(リンクスゲート)」がK5に移行中ですが、移行が完了すれば、「Navisia労務管理」との連携が計画されています。葛谷氏は、こうしたK5上でのパートナー間の連携について、次のように語ります。

「富士通には、K5上のパッケージをさらに増やしていただければと思います。さまざまなパートナーのシステムがK5にあれば、いつでも連携できるので、パートナー間の連携・協力がさらに進展し、新しいビジネスが広がるかと期待しています」(葛谷氏)

富士通が推進するデジタルビジネスプラットフォーム「MetaArc」の可能性をいち早く見抜き、既存パッケージのクラウド化の推進をすすめているナブアシスト様。今後も富士通は、同社のビジネスを支え、ともに成長するとともに、多くのパートナーとの連携をさらに拡大・深化し、「MetaArc」によるビジネスのデジタル革新を加速していきます。



本事例中に記載の肩書きや数値、固有名詞等は取材当時のものです。(取材日：2017年3月)
また、改善などのため予告なしに変更する場合がありますのでご了承ください。

2017年5月

製品・サービスについてのお問い合わせは

富士通コンタクトライン (総合窓口) **0120-933-200**
受付時間 9:00~17:30 (土・日・祝日・年末年始を除く)

富士通株式会社 〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター